

International Culture Appreciation & Interchange Society, Inc.



社団法人

海外と文化を交流する会

(社) 海外と文化を交流する会会報

2012年12月発行 第52号

(4ヵ月1回発行)

”知と心”の繋がりに文化の原点を求めて

- 日本を理解し日本で学ぶ留学生への支援
- 貧しい国々での医療活動を支援
- 各国大使館との協力などによる文化講演会の主催

MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR

”Time for Healing the Soul” 心が癒されていく時 松岡裕子画



「困難の後に、心が癒されていく心境を表しました」——讚美歌曲、クリスマス曲のパイプオルガン演奏とのコラボレーションとして組み合わせたもの。mixed mediaなので、油彩と比べると淡白。

「貴女の色彩を大切にするように」との日米恩師たちの励ましのことばに、独自の絵画世界を展開している。

松岡裕子——ミシガン州立大学芸術学部卒業。Bachelor of Fine Arts with honor を受ける。キリスト教画家・田中忠雄画伯の薦めでキリスト教絵画を志す。個展、内外のグループ展、音楽とのコラボレーションなど多数。元アジア・キリスト教美術協会会長。日本美術家連盟会員、キリスト教美術協会実行委員、霊南坂教会会員、(社)海外と文化を交流する会専務理事。

新年のご挨拶

■海外と文化を交流する会のこれから

大谷俊介 (社)海外と文化を交流する会会長

2013年の正月を迎えました。明けましておめでとうございます。
皆様にとって良い一年でありますようにお祈り申し上げます。

私たちの会は小さな規模のボランティア団体ですが、文化交流を国際的に進める活動を過去45年間続けてまいりました。これまでには、日本に来て日本文化を学ぶ留学生たちを支援したり日本のシュバイツァーと呼ばれている宮崎亮博士のバングラデシュ奥地での医療活動を応援するなど、さまざまな活動を行ってきました。その中で設立もない当会が、新たに友好関係を深めつつあったオーストラリアとニュージーランドの人たちに日本人の美しい心の表現である現代日本画の国宝級作品を寄贈した事業は国内外で大きく注目されました。その後しばらく経ってからは関心が薄らいでおりましたが、最近アジア太平洋諸国との交流が重要視されるようになり、この日本画寄贈の出来事が再び注目を集めることになりました。そこで私たちはこれまで認知される度合いが低かった日本画の啓蒙活動をはじめたのです。そして、国際的にもユニークな日本画の表現技法とその背景にある日本の美意識などを紹介するシンポジウムを最近2回オーストラリアでの寄贈日本画展に併設させて開き、評判を呼びました。日本画は他の多くの日本文化と同じように、その源流は中国にあります。日本に渡来してから独自の発展を遂げ、特に現代日本画に至って中国画とはまったく異なる、世界に類を見ない美しくも精神性に富んだ独特の絵画芸術となったのです。私たちの会の創設者の松岡朝女史は40年近く前に、日本人の平和で美しい心を表現する芸術である日本画をプレゼントすることが、何にも増してこれからの文化交流に大切であると考えたのでしょ。私たちはその意を継ぎ、世界に誇るいろいろな日本文化をオセアニアのみならず世界各国に伝えていきたいと考えています。

今、世界はぎくしゃくし、あちらこちらで紛争も絶えません。その中で日本はどういう心と形で国際交流を進めれば良いのでしょうか。外交には経済力をもつことが何よりも重要であるなどと言われます。また、危ない人たちの中には軍事力の増強こそ大切であると言う人もいます。その中で私たちの会では、外交に必要な「真の国力は文化力にあり」と考えたいのです。独自の文化を向上させ、自分たちの心とともに世界に伝えながら、世界各国の文化を暖かく理解し受け入れることにより国際平和に貢献したいとの私たちの会の設立理念を大切に守っていきたくと考えます。

さて、新年を迎え私たちの会は新しくいろいろなことをはじめることになります。それらのいくつかを列記すると以下のようです。

1. 一般社団法人への移行。

会報前号では当会はNPO法人に移行する予定であると示しましたが、最近の諸般の状況変化により、内閣府所管の一般社団法人へそのまま単純移行する方が、当会にとってメリットが大きいとの結論を得ました。2013年5月の総会において承認を受けたあと、ただちに内閣府に移行認可の申請を提出、それが受理されたあと、2014年4月1日から新しい一般社団法人に移行する予定です。定款も見直します。

2. 役員人事の刷新。

これまでの役員を刷新し新しい顧問と理事をもつ新体制に衣替えします。今後は、これらの役員たちには基本的にそれぞれこれからの活動に有益な実務的な任務を担っていただきたいと考えています。5月の総会で新役員人事を提案し来年度中あるいはその次年度早々に就任していただくこととなります。会員の皆さまの中で新役員として推薦したい人がいればお申し出下さい。

3. 「松岡朝賞」の授与。

前号で紹介したように、越後妻有の芸術の里の中に再建されたオーストラリア・ハウスに滞在し、芸術活動を行うオーストラリア人数名を選んで「松岡朝賞」を授与することになります。

4. 「つどい」の活性化。

昨秋の「つどい」には約30名が出席し盛会でした。今年もこのような会合を主催したいと考えます。テーマは、美術だけに留まらず幅広い文化、国際交流あるいは時事問題を取り上げ、有識者を含む幅広い関係者が集まる活発な会合にしたいものです。テーマのご提案を歓迎します。

5. チャリティ・コンサートの開催。

詳細は別途示しますが、春に霊南坂教会で開催する予定です。

6. オセアニアとの交流推進。

いろいろな交流を考えています。当会からの寄贈日本画の展示やシンポジウムの開催などに加えて、先方の美術や文化の紹介や関係者の交流促進も考えます。

7. 会員増にご協力下さい。

私たちの会でも高齢化が進み会員数も減ってきております。個人、法人に限らずぜひ新しく会員になって下さる人たちを強く勧誘したいと思っています。ぜひご協力下さい。

以上、今年もどうぞよろしく願いいたします。

■会費納入のお願い

2011年度の年会費納入をお願いいたします。さらに2010年度2009年度の年会費未納の方は、ぜひともご納入ください。高く評価されている当会の活動は、皆さまのご支援あってこそなのです。

将来、日豪両国の芸術専攻生の教育交流にも発展させたいと考えています。オーストラリアやニュージーランドに寄贈日本画の里帰り展も実現したいと思います。ぜひご支援ください。

郵便振替 00130-2-366249 社団法人海外と文化を交流する会
銀行振込 三菱東京UFJ銀行渋谷支店（普）2266599 海外と文化を交流する会

会費 10,000 円（正会員） 5,000 円（特別賛助会員） 3,000 円（学生会員）

海外と文化を交流する会事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-27-6 パインビル内
TEL&FAX 03-3370-7654 e-mail:jimukyoku@kaigai-bunka.org
<http://www.kaigai-bunka.org>